

下水道管路施設点検業務委託

【特記仕様書】

【業務の内容】

(1) 調査期間	着手の日から 令和6年1月31日まで
(2) 調査地区 及び内容	■周南市公共下水道処理区内 ■マンホール管ロカメラ点検 10箇所 ■マンホール目視点検 58箇所

【特記事項】

(1)交通規制の必要性 有 ・ 無

(2)安全管理

- 調査時においては、必ず酸素欠乏等を測定後実施すること。
- 調査時には交通整理員を配置し、車両及び歩行者の誘導及び整理を行うこと。
- 委託期間中は、安全対策については万全を期すこと。

(3)調査方法

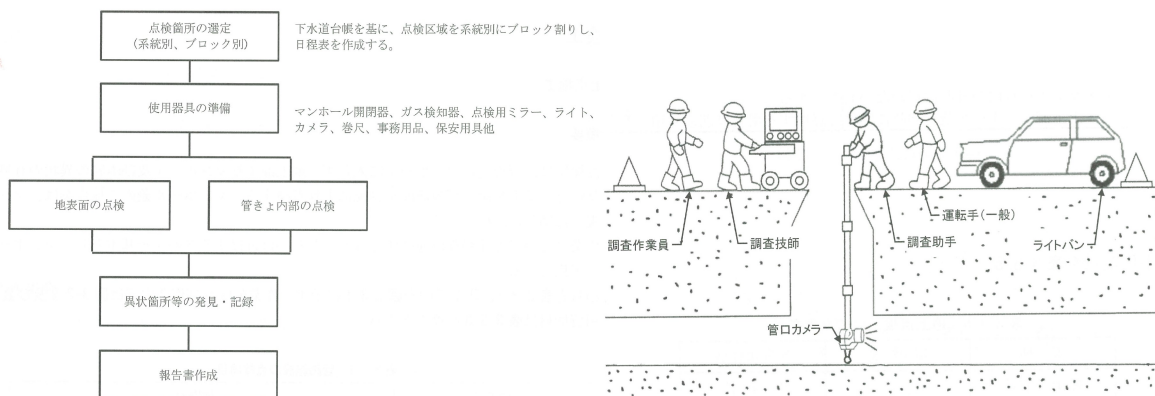
- 管ロカメラ点検工の対象は、HP管とする。
- マンホール目視点検工の対象は、汚水圧送管マンホールとする。

【作業概要】

管ロカメラ点検工は、調査員がマンホールに入らず、地上部よりマンホール及び本管の異常の有無を、管ロカメラを用いて可視範囲を目視により点検する。マンホール内にロッド付きカメラを挿入し、十分な照明のもとマンホール内及び接続されている本管内の状況を、調査員がモニターを見ながら点検を行う。

管ロカメラ点検工の点検項目及び作業手順、作業編成は下図に準ずる。

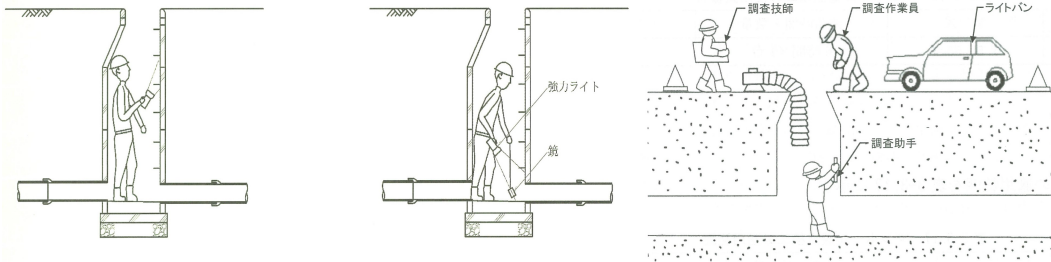
マンホール蓋の点検作業は、マンホール蓋巡視工に準じる。



【点検工の作業手順】

【管ロカメラ点検工の作業模式図】

マンホール目視点検工は、硫化水素による破損、インバートの洗堀、不同沈下、側塊や側壁のクラックやズレ、土砂等の堆積及び接続管渠の状況をマンホールに調査員が入孔して損傷劣化の程度を確認する。接続管渠については、鏡やライト等を使用し、視認できる範囲の損傷劣化の程度を確認を合わせて行う。マンホール蓋については、破損、ガタツキ、表面摩擦、ふた・受枠の段差等の損傷劣化の程度を確認を行う。



【マンホール目視調査工の作業模式図】

【管路施設の点検項目】

点検項目		点検内容
地上部の状況	道路面の状況	① 亀裂、沈下、陥没、隆起の有無 ② 溢水の有無 ③ 周辺状況等の確認
	マンホール蓋の状況	① 外観の確認 (クラック、破損等の有無) ② がたつき、表面摩耗、蓋・枠間の段差の有無
マンホール内部の状況	流下及び堆積の状況	① 滞水の有無 ② 流下障害物の有無 (土砂、モルタル、油脂、木根、不法投棄物等) ③ インバートの形状確認、洗堀・破損の有無 ④ 副管の閉塞・破損の有無
	損傷の状況	① 足掛金物の数確認、腐食・がたつきの有無 ② ブロックの破損、クラック、腐食、ずれ、目地不良の有無 ③ 側壁及び床版の破損、クラック、腐食の有無 ④ 本管及び取付け管の管口不良の有無 ⑤ 不同沈下の有無
	不明水の状況	① 地下水の侵入の有無
本管内部の状況	流下及び堆積の状況	① 滞水の有無 ② 流下障害物の有無 (土砂、モルタル、油脂、木根、不法投棄物等) ③ たるみ、蛇行、閉塞の有無 (反対のマンホールからライトを当てた場合)
	損傷の状況	① 破損の有無 ② 継手不良の有無 ③ 取付け管の突き出しの有無
その他		① 悪質下水の流入の有無 ② 有害ガス、臭気の発生の有無

注) 本管内部の状況は、本管管口から視認可能な範囲の状態を確認する。

(4)写真撮影

写真は箇所ごとにその都度撮影し、撮影項目については次のとおりとする。

- 下水道管路施設の状況が分かるように写真撮影し、報告書に添付すること。
- 安全管理、使用機械
- 監督員が指示した項目

【業務成果品】

別紙『下水道管路施設調査業務委託 [一般仕様書]』第3章 提出図書による。